

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

洋学文庫
文庫8
J386

Handwritten text in Japanese and English on a piece of paper. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side. Some visible words include "Tokyo", "Japan", and "University".

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

招帖

氷室たるもつていふやそわきつらうの考物なり
あのころへ入らばと今又の用化りお進ぐ方と違ふ
重代しあきか固巻のつらうと氷室とていふら解らぬ
まわく氷力切替いふあつたもので

才一突懸を消し湯を止め粒を井戸と冷英
あそこの休の要らぬ勿論さあそつたつたハビール商

葡萄の玉子をどくまのいふかへいふあつた地味
魚骨の肉をどくまのいふかへいふあつた地味

昔と凍りかへいふかへいふあつた地味
傷やそのお熱病のいふかへいふあつた地味

かへいふかへいふあつた地味

中々横濱外字社中より毎度新報の要ある飛田川
の原より望氷を切あし妙玉は好おきて夏りふいり
赤柳のやうな又高年ハ赤糸とてこの青江の白地
赤糸のやうなとていふかへいふあつた地味

横濱外字社中より毎度新報の要ある飛田川



未五月にて 佃屋繁吉 伴三郎

先賣捌所 横濱外字社中 田銀次